

青梅 柚木ボルダー

2016.2.18 rctK

ここは誰も訪れない超マイナーなボルダーである。近場の静かに登れるボルダーとして、年に何回か訪れるが、特に真剣に取り組む訳ではなく、のんびり気晴らしに行くところになっている。

実は駐車場となっている河原は広く、家族連れで水遊びに訪れる行楽客が多い。またここはラフティングの終了地点でもあり、ボートを引き上げるため、駐車場が無料でトイレもあるというのが賑やかな理由ともいえる。そして、その駐車場から上流 150m 程の所にボルダーがある。

岩質はチャート。対象となるのは大きめの岩が1つと、側に2つほど小さなボルダーがある。大きさも 2m 強程なので、ちょっとトライすれば飽きてしまうかもしれないが、手を変え品を変えてトライすると結構楽しめる。

アクセスについては、電車利用の場合は、二俣尾駅で降り、奥多摩橋を渡って最初の交差点を左に入る。直ぐに左に曲がって、その先の T 字路を右に折れ、そのまま道なりに下っていくと広い河原(駐車場)に出る。トイレは来た道をほんの少し戻ると、道の横にエコ・トイレがある。

そこからのアプローチは、河原の釣り師の踏み跡を辿って行けばボルダーに着くが、夏季は草が覆い茂っているので、少し上流に歩いたら、左から民家からの踏み跡が延びてきているので、そこに入り、擁壁まで行ったら、右へ擁壁に沿って歩いていくと問題なく岩場に辿り着ける。民家からの小道を利用したほうが早いですが、勝手に通らないほうが良いだろう。

なお、この記録は、2015 年夏季の状態でのものであり、現状はどうなっているかは断言できない。

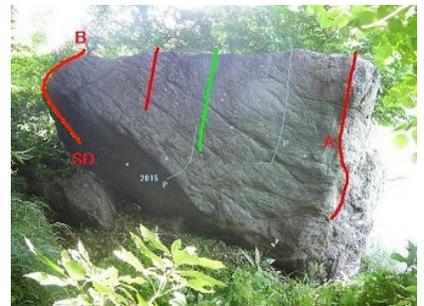
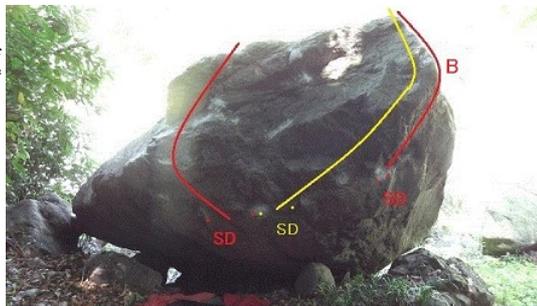


○擁壁側ハング&擁壁側フェイス

南面のハングには短いパワフルな SD 課題がある。

擁壁側フェイスはホルドの乏しいフェイス。

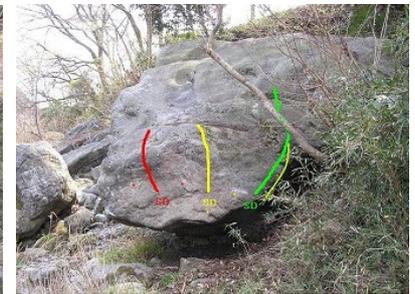
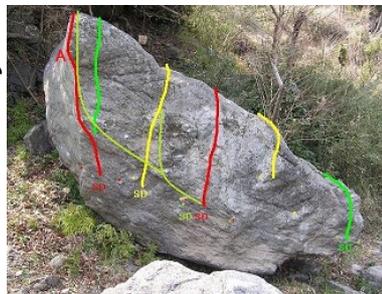
緑の課題の SD は他者により登られている。



○川側フェイス&川側ハング

カンテ(Aのライン)のSDと、中央から左にトラヴァースしてカンテを登るライン(黄緑のカンテに入るライン)が面白い。

ハングは3本のSD課題があり、右、中央、左の順に難しくなる。足はハングの奥に置いた状態からスタートする。



○側の小さな岩

2つの小さな岩。適当に遊んでください。

